

2019年2月8日
シスメックス株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
I R・広報部長 岡田 紀子

当社関連財団の表彰者および研究助成対象者決定のお知らせ

シスメックス株式会社(本社:神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO:家次 恒)が出捐・後援を行っている公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団(東京都品川区、以下「中谷財団」)において、平成30年度中谷賞受賞者3名(大賞1名、奨励賞2名)、技術開発研究助成者41名、および調査研究助成者4名が選出されましたので、お知らせします。

中谷財団は、昭和59年4月に「電子計測技術の発展を推進し、産業基盤の確立を図ることにより、わが国経済社会の発展および国民生活の向上に資する」を目的として、当社創業者・初代社長の故中谷 太郎および当社などからの基金拠出によって設立されました。平成24年4月1日より、公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団に名称を変更し「医工計測および関連技術」を対象とした表彰事業、技術開発研究助成、調査研究助成、技術交流助成、奨学金給付、および科学教育振興助成の各事業を行っています。

記

1. 対象者および研究題目

「平成30年度 対象一覧」参照

2. 助成金総額

技術開発研究助成、調査研究助成 助成金総額 5億1,791万円

3. 贈呈式

日時: 平成31年2月22日(金) 午後1時00分～

場所: マンダリンオリエンタル東京 グランドボールルーム

【中谷財団について】

名称: 公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

所在地: 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階

ホームページ: <https://www.nakatani-foundation.jp/>

以上

公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

平成 30 年度 対象一覧

敬称略、順不同

各 単位：万円

【 中 谷 賞 】

大賞

氏 名	所 属 機 関・職	受 賞 テー マ	表 彰 金 額
染谷 隆夫	東京大学 教授 理化学研究所 チームリーダー	伸縮性エレクトロニクスによる生体情報計測の先駆的研究	500

奨励賞

氏 名	所 属 機 関・職	受 賞 テー マ	表 彰 金 額
今村 博臣	京都大学 大学院生命科学研究科 准教授	単一細胞レベルで生細胞内 ATP 濃度を画像化する技術の開発とその応用	250
山東 信介	東京大学 大学院工学系研究科 教授	核偏極-核磁気共鳴計測を実現する分子技術の開発と高感度生体分子イメージングへの応用	250

【 技術開発研究助成 】

長期大型研究助成 : 複数年 (5 年)

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助 成 金 額
佐藤 匠徳	奈良県立医科大学 教授 (寄附講座)	「生体 5 次元情報」を解読する医工計測技術を創出する「知・もの・人」づくり計画	30,000

特別研究助成 : 複数年 (2 年)

氏 名	所 属 機 関・職	研 究 題 目	助 成 金 額
田中 元雅	理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー	翻訳中におけるタンパク質のフォールディング異常を検出する計測技術の開発	3,000
合田 圭介	東京大学 大学院理学系研究科 教授	無標識医療の実現に向けた高性能ラマンフローサイトメーター	3,000
柳原 格	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター研究所 部長	母体血を用いた母体・胎児感染症の超高感度核酸検出キット開発	3,000

開発研究助成

氏名	所属機関・職	研究題目	助成金額
後藤 信哉	東海大学 医学部 教授	血流条件下の血小板細胞内カルシウムイオン濃度動的变化の計測技術の開発	400
多田隈 尚史	大阪大学 蛋白質研究所 助教	分子座布団を組込んだ微小開口観察法による生体相互作用解析法の開発	400
口丸 高弘	自治医科大学 分子病態治療研究センター 講師	新原理に基づくタンパク質相互作用の非侵襲的光イメージング手法の開発	400
西澤 精一	東北大学 理学研究科 教授	リボソーム RNA を標的とする高選択的・高親和性赤色蛍光インジケータの開発	400
山中 真仁	名古屋大学 大学院工学研究科 助教	細胞外の力場環境変化に伴う細胞内弾性・粘性の多点高速3次元計測技術の開発	400
明石 知子	横浜市立大学 生命医科学研究科 准教授	細胞からサンプリングするタンパク質複合体のネイティブ質量分析法の開発	400
遠藤 政幸	京都大学 大学院理学研究科 特定准教授	ナノスケール空間内での生体分子の物性の1分子計測法の開発	400
小野 正博	京都大学 薬学研究科 教授	アルツハイマー病の超早期診断を目的としたβアミロイドオリゴマー検出技術の開発	400
西山 功一	熊本大学 国際先端医学研究機構 准教授	血管新生メカノバイオロジー機構を解くオンチップ解析系と治療法の開発	400
佐藤 信吾	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 講師	骨透明化技術による3次元骨構造解析法の開発	400
生嶋 健司	東京農工大学 大学院工学研究院 准教授	超音波によるコラーゲン線維化の非侵襲診断技術の開発	400

金城 政孝	北海道大学 大学院先端生命科学研究院 教授	偏光蛍光強度揺らぎを利用した生細胞内凝集タンパク質高感度検出法の開発研究	400
村越 道生	鹿児島大学 学術研究院理工学域工学系 准教授	難聴に関わる変異膜輸送タンパク質の局在/機能回復化合物のスクリーニング技術開発	400
太田 禎生	東京大学 先端科学技術研究センター 准教授	機器学習駆動型ラベルフリー形態セルソーター開発と応用開拓	400
木岡 秀隆	大阪大学 大学院医学系研究科 助教	超高磁場 MRI を用いた包括的エネルギー代謝イメージング法の開発	400
齋藤 卓	愛媛大学 医学部附属病院 先端医療創生センター 助教	多光子励起蛍光スペクトル計測による定量的肝炎病態診断技術の開発	205
田中 賢	九州大学 先導物質化学研究所 教授	バイオ界面水構造制御による選択的な病気マーカー分離・回収技術開発	400
戸口田 淳也	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授	IPS 細胞を応用した骨分化過程計測法の開発	400
石沢 武彰	東京大学 大学院医学系研究科 講師	術後腓液漏/胆汁漏のベッドサイド診断を可能にする小型ドレーン排液測定器の開発	400
並木 繁行	東京大学 大学院医学系研究科 助教	新規蛍光スイッチングプローブによるライブセル超解像イメージング法の開発	400
中川 英刀	理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー	1分子シーケンスによる血液循環癌ゲノム変異検出系の開発	400
高橋 有己	京都大学 大学院薬学研究科 准教授	血液中濃度維持機構の解明を目的とした内因性エキソソームの計測・解析技術の開発	400

奨励研究助成

氏名	所属機関・職	研究題目	助成金額
岩野 智	理化学研究所 脳神経科学研究センター 研究員	ホタル生物発光を活用した in vivo 発光プローブ技術の開発	200
楊井 伸浩	九州大学 大学院工学研究院 准教授	生体分子の MRI 観測を実現する超核偏極技術の開発	200
真栄城 正寿	北海道大学 大学院工学研究院 助教	マイクロ・ナノデバイスによるエクソソームの包括的情報解析とガン診断への応用	200
照月 大悟	東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教	昆虫嗅覚受容体発現細胞を検出素子とする FET 型匂いバイオセンサの安定的測定の実現	200
谷本 博一	横浜市立大学 大学院生命ナノシステム科学研究科 専任講師	磁気ピンセットを用いた細胞内力学測定技術の開発	200
森脇 健司	弘前大学 大学院理工学研究科 助教	走査型触覚顕微鏡を用いた表面形状・硬さ・接着性の同時イメージング法の開発	200
蛭田 勇樹	慶應義塾大学 理工学部応用化学科 専任講師	がんの悪性度を診断する超高感度蛍光ポリマー pH イメージングプローブの開発	200
仁子 陽輔	高知大学 教育研究部 助教	フェムト秒ファイバーレーザー適応性二光子励起発光材料の創製	200
荒井 健一	佐賀大学 医学部 特任助教	バイオ 3D プリンタにより作製した心筋組織体を用いた新規薬理応答試験方法の開発	200
倉持 昌弘	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 助教	生きた線虫の 1 分子動態と細胞応答を同時取得する時分割 X 線回折/細胞イメージング法	196
松崎 賢寿	東京医科歯科大学 統合研究機構 特別研究員 (学振 PD)	“生きた”細胞接着面を可視化する超解像一反射顕微法の開発と肝臓原基を用いた検証	200

甲斐 洋行	東北大学 工学研究科 特任助教	皮膚上の微小流体制御による汗成分センサの開発	200
中嶋 香奈子	産業技術総合研究所 人間情報研究部門 研究員	足関節不安定症診断のための長時間記録型足底三軸力計測デバイスの開発	199
當麻 真奈	関西学院大学 理工学部環境・応用化学科 助教	比色型プラズモニクバイオセンサによる病原性ウイルスの迅速・高感度検出法の開発	200
経田 僚昭	富山高等専門学校 射水キャンパス商船学科 准教授	次世代型完全非侵襲 3次元血流イメージング装置の開発と末梢部血流疾患の定量的評価	200

【 調査研究助成 】 複数年（2年）

氏名	所属機関・職	研究題目	助成金額
森 正樹	大阪大学 大学院医学研究科 教授	OSNA法による大腸がんリンパ節転移診断データ登録システムの構築	300
田中 真琴	東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 教授	非侵襲的検体採取法による肛門粘膜からの炎症性サイトカインの検出に関する調査研究	300
松村 光一郎	関西医科大学 総合医療センター 助教	慢性透析患者における血管内容血の病態的意義	300
浅井 さとみ	東海大学 医学部 医師	ヒト皮膚から放散するアンモニアによる「自律神経の乱れ」の評価指標の調査	291